

つきたての餅に手を伸ばす区民の方たち



人形劇に夢中の子どもたち



たくさんの来場者で混雑する直売所



伝統の餅つき 威勢良く 12月5日 みやあげ

刀根区の伝統神事「みやあげ」が、早朝から区内の公会堂で行われました。紺色の着物にたすき姿の男衆は、太鼓と餅つき唄で音頭をとりながら、きね棒で餅をつきました。時々ついている餅を、きね棒の先につけて高々と上げたり、つき加減を見てもらうため、座敷の区民にきね棒ごと餅を差し出したりして、神事を盛り上げました。ついた餅は牛の舌の形に整えられ、気比神社に供えられました。

親子で楽しもう！ 11月6日 支援センターまつり

子育て総合支援センターで、「話そう！ 遊ぼう！ みんなおいでよ！ 支援センターまつり」が地域の方々やボランティアの皆さんの協力のもと行われ、多くの親子で賑わいました。子どもが楽しめるような運動遊びや音楽はもちろん、着られなくなった子どもの服を再利用してもらう“ママもエコ”などの親を対象にしたイベントも開催。会場を訪れた親からは「親子で一緒に楽しめてよかった」という喜びの声が聞かれました。

街角スケッチ

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
広報広聴課 ☎ 22 - 8112

敦賀の野菜はおいしいぞ！ 11月13日 農産物直売所オープン

敦賀の農業の振興と地産地消を目的とした、農産物直売所がオープンしました。記念式典では、市民から募集し決定した愛称「ふるさと夢市場」が発表され、入り口正面に掲げられました。式典が終わると、いよいよ直売所がオープン。大根や白菜など、地元の新鮮な野菜を買い求める多くの来場者で賑わいました。また外の広場では、打ちたてのそばや若狹牛のしゃぶしゃぶなどの販売も行われ、長蛇の列を作っていました。



発表された
農産物直売所
の愛称

平成22年度 教育委員会表彰

11月10日(木)に、平成22年度の教育委員会表彰式が行われました。永年にわたり、市の教育、文化、体育の振興発展に尽力された5人の方が表彰されました。(敬称略)

功労賞
白木 昭典 (前青少年健全育成敦賀市民会議副会長)

奨励賞
石井 惣平 (私立敦賀郷土博物館館長)
桑村 英一 (敦賀市バレーボール協会副会長)
上野 信子 (敦賀市立敦賀北小学校教諭)

堤腰 昭 (敦賀市剣道連盟事務局長)

問合せ 教育総務課 ☎ 22・8149

未来を担う敦賀っ子の教育に意見を交わすパネリスト



敦賀の学びを考える 11月3日 教育フォーラム

敦賀の教育について考える「教育フォーラム2010敦賀」がプラザ萬象で開催されました。第1部では、下野弘喜教育長が未来の敦賀っ子を育成するための「敦賀スタンダード」について基調提案を行いました。第2部では、パネルディスカッションが行われ、宮城教育大学教授相澤秀夫氏や敦賀っ子教育審議会会長の池田裕太郎氏などのパネリストとともに、会場の参加者の意見を交えながら、今後の教育について話し合いました。

みんながコスモスに夢中



コスモス畑 きれいだね 11月3日 コスモスまつり

原地区の西福寺前で「コスモスまつり」が開催され、一面に咲いたコスモスが、訪れた大勢の人を魅了しました。コスモス畑では、写真を撮るお年寄りや、コスモスを摘み取る親子の姿が見られ、思い思いにまつりを楽しんでいました。また、会場では区民によるおにぎりや焼き芋などの販売のほか、フラワーアレンジ教室が行われ、まつりを盛り上げました。